

自治体等からのご意見

【目次】

番号	要望日	自治体等	頁数
前自001	平成24年11月15日	中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会	3-5

■ 「中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会」からの要望(平成24年11月15日)

前自001-1

要 望 書

平成24年11月15日

中部日本横断自動車道
建設促進期成同盟会

前自001-2

中部日本横断自動車道の早期完成について

「中部日本横断自動車道」は、日本列島の中央部において太平洋と日本海を直結する高速道路で、新東名高速道路の清水連絡路、中部横断自動車道及び上信越自動車道を連結することにより構成されています。

新東名の清水連絡路につきましては、清水JCT～新清水JCT間(L=4.5km)が本年4月に供用されました。

中部横断自動車道につきましては、静岡市～甲斐市間(L=7.5km)、及び佐久穂町～佐久市間(L=2.3km)が整備計画区間に、北杜市～佐久穂町間(L=3.4km)が基本計画区間に、それぞれ位置づけられており、現在までに増穂IC～双葉JCT間(L=1.6km)、佐久南IC～佐久小諸JCT間(L=8.5km)が供用されています。

また、上信越自動車道につきましては、信濃町IC～上越JCT間(L=3.8km)について、本年4月より4車線化事業に着手されました。

昨年3月11日に発生した東日本大震災では、高速道路が、救助や緊急輸送の基軸となり「命の道」として多大な効果を発揮することが改めて認識されました。

また、「高速道路のあり方検討有識者委員会」が昨年12月に示した「中間とりまとめ」でも、『「繋げてこそネットワーク」を改めて認識し、脆弱な地域の耐災性を高め、国土を保全するネットワーク機能の早期確保』が、最優先課題としており、太平洋側と日本海側を結ぶネットワーク強化の必要性が示されています。

東海地震等による重大な災害の発生が危惧されている昨今において、中部日本横断自動車道は、広域的防災体制を強化するとともに、緊急輸送路としての役割を担うなど、防災、住民の安全安心に不可欠な「命の道」であります。

一方、中部日本横断自動車道の実現は、静岡・山梨・長野・新潟の4県を結ぶとともに、東名・新東名・中央・関越・北陸の5つの高速道路を有機的に連結することで、臨海工業地帯と内陸工業地帯との緊密な連携、物流体系の再編、交流圏の拡大、広域的観光ゾーンの形成などを促進し、沿線地域の産業・経済・観光・文化等に大きな活力を与えるなど、中部日本横断自動車道が4県に及ぼすその整備効果は計り知れないものと大きく期待を寄せ、関係県民は、等しくその早期実現を念願しているところであります。

つきましては、中部日本横断自動車道の重要性について御理解いただき、次の事項について特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

■ 「中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会」からの要望(平成24年11月15日)

前自001-3

記

- 一、 静岡・山梨・長野・新潟の4県を結ぶ「中部日本横断自動車道」について、全線完成を早期に実現すること。
- 一、 中部横断自動車道については、基本計画区間(北杜市～佐久穂町間)の整備計画区間への格上げを早期に実現するとともに、事業中区間(新清水JCT～増穂IC間、八千穂IC(仮称)～佐久南IC間)の建設を促進すること。
特に直轄高速区間(富沢IC～六郷IC間、八千穂IC～佐久南IC間)については、早期に完成させること。
- 一、 上信越自動車道の信濃町IC～上越JCT間については、4車線化事業を早期に完成させること。
- 一、 高速自動車国道は、国の根幹的な施設であり、今後とも国及び地域の社会・経済活動の発展を支えるため、国が責任を持って整備計画9,428kmを早期に整備し、法定路線である11,520kmの整備を着実に推進すること。
- 一、 未事業化区間の整備を促進するため、早急に事業化のスキームを確立するとともに、計画段階評価など必要な手続きを速やかに進め完了すること。
- 一、 高速自動車国道をはじめとする高規格幹線道路網の整備を促進するため、「全国ミッシングリンクの整備」等について重点要求を進め、所要の建設予算を確保すること。

前自001-4

中部日本横断自動車道 建設促進期成同盟会

会長 山梨県知事 横内 正明



副会長 新潟県知事 泉田 裕彦

副会長 長野県知事 阿部 守一

副会長 静岡県知事 川勝 平太

副会長 新潟県議会議長 小川 和雄

副会長 長野県議会議長 平野 成基

副会長 山梨県議会議長 浅川 力三

副会長 静岡県議会議長 小楠 和男

「中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会」からの要望(平成24年11月15日)

中部日本横断自動車道 前自001-5 早期実現へ!!

日本列島中央部の高速ネットワークの拡大

中部日本横断自動車道の開通によって

- 効果 1 >>> 高速ネットワークの形成
- 効果 2 >>> 観光開発の促進
- 効果 3 >>> 物流体系の再編成
- 効果 4 >>> 産業活動の広域化
- 効果 5 >>> 災害時緊急輸送路・避難路の確保

中部日本横断自動車道計画

中部横断自動車道 約132km
上信越自動車道 133km

完成に向け工事進捗中

新清水JCT～長野JCT区間
丸瀬川橋付設

長野JCT～長野JCT区間
丸瀬川橋(下部工)

長野JCT～長野JCT区間
丸瀬川橋(下部工)

早期整備が望まれる

H24年度より
4車線化事業着手
妙達原IC～中部IC区間
木田切橋付近渡溝状況

長野JCT～八千穂IC区間
降雪による渋滞状況(国道141号)

「君は太平洋を見たか、僕は日本海を見た」
中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会

H24.11.15